

## 平成18年度 日本自転車振興会補助事業の概要

補助事業名：平成18年度 次世代ロボット産業の振興に関する調査研究

補助事業者名：(財) 四国産業・技術振興センター

### 1. 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

四国の機械工業を活性化させ、更なる発展を目指す分野として先端産業群のロボット分野がある。特に、全国より進んでいる高齢化率、1次産業のウェイトが高い産業構造といった四国の地域特性に着目し、農業及び福祉・介護に関する次世代ロボット開発のあり方や育成・振興方策の考え方などについて検討する。

このため、四国内の企業や四国外の大学・行政などの先進団体にアンケートやヒアリングを行ない、現状・問題点およびそこから導き出される課題を明らかにし、四国地域の機械工業振興に寄与する。

#### (2) 実施内容等

##### (実施内容)

四国の次世代ロボット産業の振興に向け、

- ◆次世代ロボット産業をとりまく現状把握
- ◆四国におけるニーズ・シーズ等の実態調査
- ◆次世代ロボットに関する先進事例調査
- ◆四国における農業及び福祉・介護分野の状況とロボット開発の課題抽出
- ◆四国の農業及び福祉・介護分野におけるロボット開発の方向性検討
- ◆四国における次世代ロボット産業育成・振興方策の考え方などについてとりまとめた。

##### (調査委員会開催状況)

委員会	開催年月日	開催場所
第1回調査委員会	平成18年 7月26日(水)	高松市
第2回調査委員会	平成19年 1月12日(金)	高松市
第3回調査委員会	平成19年 2月26日(月)	高松市

#### <四国における次世代ロボット産業育成・振興方策>

関係者への一体感を醸成させる取り組み、並びに高い技術力を有する企業や大学等研究機関の連携による新技術の開発が重要であることから以下の提案を行った。

##### ①セミナーの開催

- セミナー、シンポジウム等の開催による四国のロボット産業の底上げ
- 企業等の参加意識の高揚や関係者の一体感の醸成

##### ②実用開発テーマの発掘

- テーラーメイド農業のあり方を踏まえたニーズとシーズのマッチング（農業）
- 企業、大学等を中心とする幅広い関係者による地域特性を踏まえたテーマ発掘  
(福祉)
- 四国で保有している様々な専門技術(シーズ)をシステム統合するエンジニアの育成

##### ③行政の支援

- 財政面、許認可面における各種支援の充実による取り組み環境の整備
- ロボット産業の認知度を高め底辺を広げる工夫や機運醸成につながる取り組み

#### 2. 予想される事業実施効果

関係機関の取り組みを通して、次世代ロボット産業分野を始めとする四国の機械工業全般にわたる産業振興が期待できる。

#### 3. 本事業により作成した印刷物等

次世代ロボット産業の振興に関する調査報告書

#### 4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人四国産業・技術振興センター(シコクサンギョウギジュツシンコウセンター)

住所： 760-0033  
香川県高松市丸の内2番5号

代表者名： 理事長 塩崎 健二(シオザキ ケンジ)

担当部署： 産業調査部(サンギョウチョウサブ)

担当者名： 課長 牧野 正明 (マキノ マサアキ)

電話番号： 087-851-7083

FAX 番号： 087-851-7027

E-mail : [makino@tri-step.or.jp](mailto:makino@tri-step.or.jp)

U R L : <http://www.tri-step.or.jp/>

※この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。